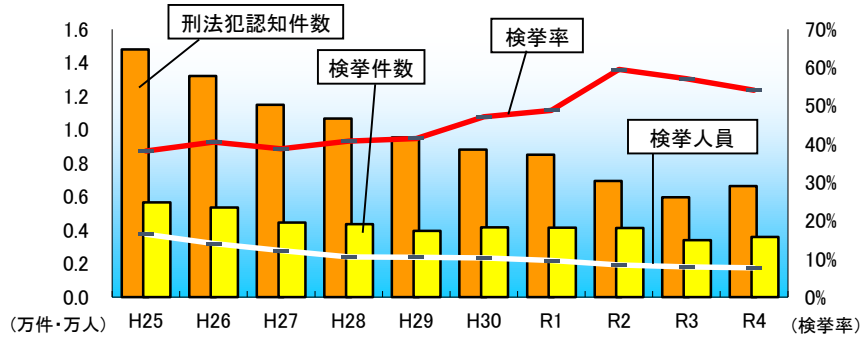


「令和4年長野県警察の運営重点と対策」推進結果

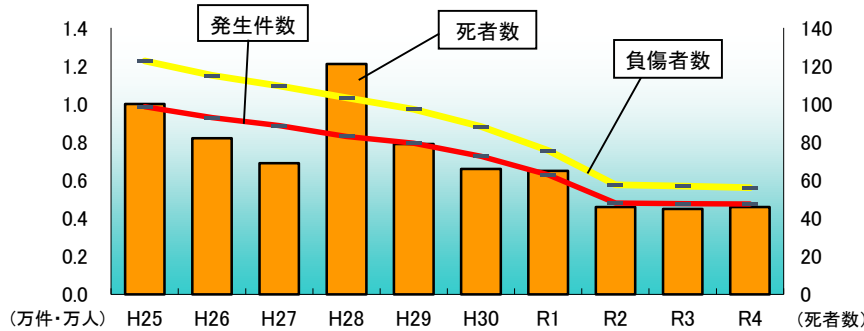
犯罪情勢



区	分	R元	R2	R3	R4	前年比
刑法犯認知件数		8,504	6,944	5,959	6,635	+676
増減率		-3.6%	-18.3%	-14.2%	+11.3%	
検挙件数		4,154	4,130	3,401	3,591	+190
検挙率		48.8%	59.5%	57.1%	54.1%	-3.0
検挙人員		2,184	1,916	1,812	1,762	-50

○ 刑法犯認知件数は、戦後最少を記録した前年から676件増加
○ 検挙率は低下した一方、殺人等の重要犯罪の検挙率は上昇

交通事故発生状況



区	分	R元	R2	R3	R4	前年比
発生件数		6,281	4,802	4,772	4,752	-20
死者数		65	46	45	46	+1
負傷者数		7,559	5,756	5,696	5,611	-85
死傷者数		7,624	5,802	5,741	5,657	-84

○ 発生件数は、平成17年から18年連続で減少
○ 死者数は、統計の残る昭和23年以降最少を記録した前年から1人増加

長野県警察運営指針

県民とともにある力強く温かい警察
～日本一安全・安心な信州をめざして～



「ライボくん」



「ライビちゃん」

運営重点の推進結果

※ () 内は前年比

1 総合的な犯罪防止対策の推進	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> 多発犯罪手口 <ul style="list-style-type: none"> 万引き 1,183件 (-81件) 自転車盗 748件 (+59件) 器物損壊 572件 (-5件) 電話でお金詐欺(特殊詐欺)発生状況(暫定値) <ul style="list-style-type: none"> 認知件数 198件 (+43件) 被害額 約5億6,231万円 (+約2億9,337万円) 人身安全関連事案発生状況 <ul style="list-style-type: none"> ストーカー相談等件数 233件 (+14件) DV相談等件数 734件 (-111件) 児童虐待通告児童数 937人 (-130人) 福祉犯検挙件数/人員 76件 (-6件)/61人 (-14人) 生活環境事犯検挙件数/人員 344件 (-81件)/339人 (-52人) サイバー犯罪検挙件数/人員 163件 (+28件)/109人 (+25人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○効果的な防犯対策の推進及び地域住民への積極的かつタイムリーな防犯情報の提供等による自主防犯活動の促進 ○電話でお金詐欺(特殊詐欺)被害防止のため、犯人からの電話を受けないための防犯対策機器及び電話を受けてもたまたまされないためのAIを活用した防犯機器の普及 ○人身安全関連事案における危険性・切迫性に応じた組織的対応の推進 ○関係機関・団体と連携した少年の規範意識向上と犯罪被害防止を図るための取組の推進 ○関係機関との連携強化等による生活経済事犯の早期把握と被害拡大防止に向けた事件化の推進 ○サイバー犯罪の犯行手口の実態解明とタイムリーな広報啓発・被害防止活動の推進
2 検挙力の強化	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> 重要犯罪認知件数 80件 (±0件) 検挙件数/検挙率 70件 (+4件)/87.5% (+5.0P) 電話でお金詐欺(特殊詐欺) 検挙件数/人員(暫定値) 62件 (-43件)/43人 (-6人) 重要窃盗犯検挙件数/人員 462件 (+134件)/52人 (-1人) 暴力団犯罪検挙件数/人員 338件 (+82件)/147人 (-9人) 薬物事犯検挙人員 64人 (-38人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○緻密な捜査指揮と的確な捜査態勢の確立による適正捜査の推進及び取調べの録音・録画制度の適正運用の徹底 ○部門間の連携と情報共有による暴力団、準暴力団、特殊詐欺等犯罪組織に対する実態解明と取締りの強化 ○電話でお金詐欺(特殊詐欺)事件の背後にある犯罪者グループの実態解明及び壊滅に向けた取締り
3 交通事故防止対策の推進	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者事故発生件数 1,955件 (-28件)/構成率41.1% 死者数 27人 (±0人)/構成率58.7% 飲酒1当事故発生件数/死者数 43件 (+4件)/1人 (-2人) 交通違反検挙件数 <ul style="list-style-type: none"> 飲酒運転 209件 (-36件) 横断歩行者妨害 2,914件 (-305件) 通行禁止 10,112件 (-237件) 妨害運転(いわゆる「おおり運転」) 3件 (+3件) 交通安全施設整備状況(累計) <ul style="list-style-type: none"> ゾーン30/ゾーン30プラス 118か所/3か所 歩車分離式信号機 479基 65歳以上の運転免許証自主返納件数 7,249件 (-477件) 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の加齢による身体機能の変化を踏まえた安全運転や安全な交通行動を促す安全教育・広報啓発の推進 ○歩行者保護を促す横断歩道ルール・マナーアップの実践や反射材の着用促進等の広報啓発の推進 ○可搬式オービスの活用を含めた朝夕の通学時間帯における指導取締りの強化 ○交通安全施設の戦略的なストック管理及びライフサイクルコストの低減 ○運転技能検査、認知機能検査及び高齢者講習の円滑な運用と運転免許証自主返納者に対する各種支援施策の充実に向けた取組
4 テロ・大規模災害等危機管理対策の推進	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> テロ等の未然防止に向けた管理者対策、テロ等対処訓練を実施 災害対処能力等の向上のための実戦的訓練を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○テロ等の未然防止に向けた事業者等との緊密な連携とテロ等の発生を想定した対処訓練の推進 ○総合的な危機管理体制の点検・構築と防災関係機関との情報共有及び合同訓練の継続実施
5 治安情勢を的確に見据えた効果的な地域警察活動の推進	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> 犯罪の発生分析に基づく「見せる警戒活動」と職務質問による犯罪検挙を推進 山岳遭難発生件数/遭難者数 284件 (+27件)/310人 (+34人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○治安情勢に応じた街頭活動の強化による、犯罪の抑止・検挙と管内実態把握の推進 ○山岳遭難救助隊等の救助技能の向上と迅速・的確な救助活動の推進
6 県民の立場に立った積極的な対応	今後の取組方針
7 時代の要請に応じた警察活動の基盤強化	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> 警察に対する相談受件数 89,674件 (+4,013件) 警察官採用試験受験者数 802人 (+42人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○県民からの各種相談等への誠実な対応 ○社会情勢に応じた組織体制づくり ○働きやすい職場環境の形成